

8がつうまれのおともだち  
おたんじょうび おめでとうございます



「寝る子は育つ」と言いますが、子どもは寝させておけば勝手に育つというわけではありません。栄養を与え睡眠をとれば、体は成長するでしょう。しかし、心が置いてきぼりになってしまえば、それは望ましい成長ではないと思うのです。神さまは何のために子どもに親を与えられるのでしょうか。それは親子の関りの中で子どもが世界を知り、自分を知り、何より愛を知るためです。聖書には親が神さまと子どもの仲介者であり、神さまの御心を教える存在であると書かれています。神さまの御心とは、地上において平和を実現するための教えです。子どもたちが平和を実現し、人と神様に愛される素晴らしい存在となるために、私たち大人もまた、神さまの御心を求め、成長したいと思います。

★8月生まれのお友だちのお誕生会を8月5日(水)を予定しています。

今年度も園児のみでお誕生のお祝いを致します。

★これからも神様に守られて健やかに 心も体も大きくなりますようにお祈りしています。

子どもたちの「甘える聲」④

「甘やかしたら、甘ったれになる」とよく言われますが、

“甘えさせてあげる”と“甘やかす”は違うのでしょうか？

“甘えさせてあげる”とは、スキンシップや態度や言葉によって、

「あなたのことを見ているよ、大丈夫だよ」という安心感を与えることです。

“甘やかす”とは、大人の都合に合わせて、

子どもの気持ちを物やお金で埋め合わせすることです。

物やお金をもらうことで子どもは喜びますが、甘える壺は満たされません。  
嬉しいと満足は違います。

言いかえると、“甘やかす”とは物やお金を与えることです。

“甘えさせてあげる”とは、あなたの時間を与えることです。

子どもと“一対一”になるためには、あなたの時間を使いますよね。

甘えさせ過ぎても、甘ったれにはなりません。

甘ったれとは、物やお金に執着の強い状態です。

幼少期に十分に甘える壺が満たされていないと、

自信(自己肯定感)が乏しく、人を信じなくなる(性悪説)、  
独り立ちできず、社会生活になじめなくなります。

引用 「たがのわ 多賀先生のあったか子育てアドバイス」 心力舎

多賀千之

多賀千之・安藤梢 編著